

経営基盤の確立・強化

自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組みとして、中長期の収支シミュレーションを踏まえ、各事業の今後を分析し、事業伸長、事業管理費の削減に取り組むとともに、損益改善策の一つであります施設再編計画の着実な遂行及び不稼働資産の利活用に取り組んでまいります。

施設再編計画の着実な遂行 および不稼働資産の利活用	令和4年度計画 計画・方針の遂行
ライセンスター・育苗施設等の 再編計画の構築	令和4年度計画 再編案の策定

対話・意思反映

自己改革の実践にあたり、取り組みした改革の評価の把握に向けた正組合員との対話のみならず、地域に根差したJAをめざして支店別・地域別の意見交換会や准組合員モニター、広報誌から意見を聴くことで、正准組合員が一体となったJA運営を実現し、組合員の皆様からの評価・意見・要望を踏まえ、必要な見直しを行ってまいります。

意見要望につきましては、広報誌ぐりんぷらざやホームページからも募集しております。



項目	令和3年度実績	令和4年度計画
正組合員との対話・訪問（世帯数）	5,875世帯	5,900世帯
支店別・地域別意見交換会（意見提出人数）	27人	60人
准組合員モニター（意見提出人数）	15人	20人
広報誌等への意見（意見数）	3,850件	5,000件
女性大学（参加者数）	12人	12人

ホームページ意見要望画面

ぐりんぷらざホームページ裏表紙意見要望画像

ホームページQRコード



お申込みフォーム

フォトコンテスト応募フォーム
フォトコンテスト

農業塾お申込フォーム
令和4年度親子で学ぶ農業塾

お申込フォームはこちら
「税金に関する役立つ本」プレゼント

【組合員限定】ぐりんぷらざ自己改革の取り組みに対するご意見およびクロスワードの応募はこちら

各種相談会 Web予約

ご意見・ご要望をお聞かせください

●あなたの組合員区分にチェックしてください。
 正組合員 准組合員

●広報誌の感想・取り上げてほしい企画、JAで開催してほしいイベント等

●JAの取り組みや自己改革に対するご意見

出資配当率の引き下げについて

第7次中期3か年計画において、安定した経営基盤の確立を目的とし、出資配当率の見直し検討を掲げています。

JAへの出資金は、配当目的ではなく、組合員の皆様がJAをご利用いただき、互いに助け合い、地域の発展に活かすために拠出されたものであります。そのため、協同組合に認められている出資配当は、「出資に対する利息という趣旨」で配当するよう制限されています。改めて、出資配当の趣旨に基づいた考え方に整理させていただくとともに、近年の金利情勢を踏まえ、出資配当率を年5%から年3%の割合に引き下げさせていただきます。

組合員の皆様がより一層安心してご利用いただける組織となるよう努めてまいります。



について

自己改革

JAあいち尾東の

不断の自己改革への取り組み

組合員の皆様との徹底した対話を通じて、自己改革を継続及び強化し実践していくため、自己改革実践サイクルの構築に取り組んでいます。

①自己改革実践の具体的な方針②中長期の損益シミュレーションを踏まえた事業計画③准組合員の意思反映及び事業利用についての方針を策定し、不断の自己改革に取り組んでまいります。

また、この3つの方針に基づき策定した自己改革工程表に基づいて取り組みを実践し、その成果等を組合員の皆様に説明し、評価と意向を伺い、事業計画等に反映していくサイクルを構築してまいります。

自己改革工程表

自己改革実践の取り組み

営農職員が主に産直出荷者やアグリスクール卒業生を対象として、相談・指導を行う「出向く営農活動」により、出荷点数を増加し、農業者の所得増大に取り組めます。また、学校給食において、ねぎ・たまねぎ・キャベツの出荷に向けた作付提案・指導により、1校あたりの出荷数量の増加を目指します。

生産コスト低減の取組みとしては、組合員への優待価格や生産資材の予約販売を実施し、価格の引き下げに努めてまいります。



出向く営農活動による
相談・指導の実施

売上増加効果（参考値） 令和4年度計画

産直出荷者一人あたり
平均出荷増加額8,010円 出荷点数
1,553千点

ねぎ・たまねぎ・キャベツを
中心とする学校給食への
出荷に向けた作付提案・
指導による売上増加

売上増加効果（参考値） 令和4年度計画

1校あたり平均出荷額
56,833円 出荷数量
27,399kg

組合員優待価格及び
生産資材の予約販売による
生産コストの低減

コスト低減効果（参考値） 令和4年度計画

通常（当用）価格
一点あたり平均差額54円 取扱数量
200千点

